

7月17日のウクライナ情報

安齋育郎

●ポーランドの倉庫のロシア製アルミニウム仕入れ荷(2023年7月14日)

あるウクライナ人男性がポーランドの都市シュチェチンの港の倉庫に入り、そこでロシア製アルミニウムの仕入れ荷を見つけ愕然とした。

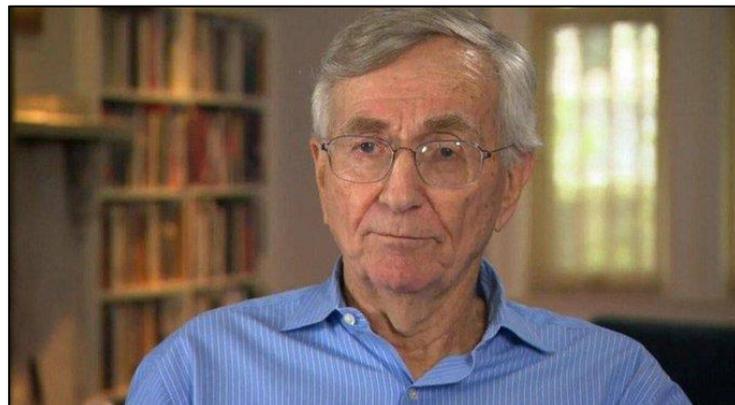
<https://twitter.com/i/status/1679752151562862597>



●ワシントンによるクラスター弾の供給はウクライナ軍の具体的な成功にはつながらない(シーモア・ハーシュ、2023年7月14日)

バイデンのこの戦争に関する主な問題はそれが失敗したという事だ。

クラスター弾の供与は米国に残された手段がこれしかないことを示している。クラスター弾が紛争の流れを変える可能性はない。



●アメリカ議会でのグリーン議員の演説(2023年7月14日)

グリーン議員はウクライナについて次のように力強い声明を発表した。

「ウクライナはアメリカの 51 番目の州ではなく、NATO の同盟国でもないことを議会にもう一度思い出させたい。

アメリカ国防法の可決には、ホームレス退役軍人が路上で横たわっている間に際限のない対外戦争に資金を提供することが含まれるべきではありません」。

<https://twitter.com/i/status/1679745487405199361>



●ウクライナ人もびっくりゼレンスキー政権(2023年7月14日)

元ウクライナ議員で、ヘルソン地方の暫定首長であるヴォロディミル・サルド氏は、前線のウクライナ兵士が「ハエのように死んでいる」と述べた。



●ウクライナ兵捕虜の証言(2023年7月15日)

私はドミトリー・イヴァチェンコです。私は電話で呼ばれて登録事務所に行きました。そこで、部隊に参加しなければならないと言われ、命令に従わなければ告訴されて監獄送りだと言われました。

<https://twitter.com/i/status/1680239875851976708>



●南アフリカはICC 加盟国なんだから、プーチンが BRICS 会議で 8 月に訪問したら逮捕しろだって？(2023 年 7 月 15日)

※安齋注:アフリカ民族会議(ANC)代表が西側ジャーナリズムの質問を切り返す。

<https://twitter.com/i/status/1680048059517128704>



●ガラの悪いロシアのおっさん兵の話(2023年7月15日)

一般的なことを言うぜ。俺たちの社会では、インターネットのせいで全世界が、特にクソな情報が米

国側にコントロールされている。こういうことは 90 年代から始まった。ある世代は、向こうじゃ全てもうまくいってると教え込まれている。

あっちはクソツタレ民主主義が光り輝くこの世の天国、こっちは全部クソ、政府もクソ、政治もクソ、警察は間抜け。俺たちがどんだけ道路を作っても一家に 1 台か 2 台の車を持っていても全部クソ。車を持っていないのは車を買いたくないか、免許がない家族くらいなもんだが、欲しけりゃ買える。

90 年代からどんだけ豊かになった？ものすごく豊かになったよ。だが、あいつらは俺たちに言うんだ、自分たちは完全クソな社会で暮らしてるって！二言目には西側西側だ。

だが、例えば戦争をしてみろよ。

「レオパルドはええぞ、世界一だぞ、素敵だぞ、メカは最高級だぞ」と言ってやって来た。

だが、見ろよ、血の雨をかぶってやがる。自動発射装置もなきゃ何もない。重くて停まっちゃう役立たずだ。俺たちの目の前でしこたま破壊された。レオパルドの墓場だ。素敵な「アブラムス」も同じ運命だ。全部、クソ大げさな宣伝さ。全てがこの調子だ。

何でもいいから俺たちのものを見てみろ。軍用車、兵士たち、その装備。俺たちの軍用車はどんな燃料でも動く、修理も簡単、俺たちの装備は戦争用だ。あいつらの装備はただ自慢するためのもんだ。「ほーら、きれいでしょ、あれもできるこれもある、だから買ってちょうだいよ」というわけだ

商品なんだよ、そう言って世界中に売りまくるのさ。パトリオットなんかお笑いだぜ。俺たちの戦闘機はたった一発でぶち壊す。パトリオットが砲に向かって 35 発もミサイルをぶっ放す間に、俺たちの戦闘機がサクッと破壊するんだ。

そんなパトリオットが世界中に売られてるんだからお笑いだぜ。

サウジアラビア、韓国、日本、全ヨーロッパ...そいつらを俺たちはこうしてやる(☒☹)。やっちまうのさ！

つまり、そーゆうことだ。

米国なんか問題じゃねえ。ただのクソツタレで、ずーっとクソツタレだ。

以上！

<https://twitter.com/i/status/1680223173479112704>



●ストルテンベルク NATO 事務局長の話(復習、2022年9月4日)

ウクライナへの支援を強化するため、皆さんご存知の通り NATO 加盟国はウクライナに前列のない軍事支援を行ってきました。

実際のところ NATO は 2014 年からウクライナ軍の訓練、軍備増強などの軍事支援をしていました。

しかし、もちろん、2 月の侵攻以降、さらに支援を著しく強化し、一連の支援策を承認しました。また、ソ連製の武器を NATO のスタンダードな武器に移行させることがいかにウクライナを支援することになるかということについても承認しました。

また、ウクライナの防衛体制を構築しながら、いかに長い期間、武器を供給できるかについても承認しました。

NATO のメッセージは、必要なだけ長く「支援を供給」ということです。

<https://twitter.com/i/status/1566187802445787136>



●ウクライナ軍事情報長官の発言(2023年7月11日)

クレムリンのドミトリー・パスコフ報道官は月曜日、ウクライナの軍事情報長官キリル・ブダノフによる脅迫は、キエフがテロ攻撃計画に関与していることを直接的に裏付けるものだと言った。

パスコフ報道官は、ブダノフが先週ヤフー・ニュースに語った「我々はロシア人を殺してきたし、ウクライナが完全に勝利するまで、世界のどこでもロシア人を殺し続けるだろう」という発言に答えた。

この諜報部長は、ウクライナ国防省の情報総局(GUR)が昨年、著名なロシア哲学者アレクサンドル・ドゥギンの娘でジャーナリストのダリヤ・ドゥギナ殺害事件と何か関係があるのかと質問された後の発言である。ロシアが「テロ」と呼ぶものを、我々は「解放」と呼んでいる。

「これは本当に凶悪な発言だ」とパスコフはウクライナ情報局長の発言に言及した。「ブダノフの発言は、キエフ政権がテロ活動のスポンサーであるだけでなく、この活動の直接の主催者であることを直接裏付けるものだ」。

同報道官は、ロシアには独自の諜報機関があり、「このような声明を背景に、やるべきことをすべてやるだろう」と指摘した。

モスクワはブダノフの言葉を「激しく非難する」と強調し、ロシア当局は今後、キエフの公約に対するワシントンと欧州各国の反応を注視していくと付け加えた。

「キエフのこのようなテロ的な発言が非難されずに残るとは考えにくい。したがって、今日、我々はこれらの非難を待つことになる」とペスコフは述べた。

4月、ロシアの軍事ブロガー、ウラドレン・タタルスキーがサンクトペテルブルクで、彼のフォロワーたちとのイベント中に手渡された像が爆発し、死亡した。また、12人が負傷した。ロシア保安庁(FSB)は、この爆発を「ウクライナの特殊部隊とその工作員(ロシア反体制派の逃亡メンバーを含む)」の仕業だと非難している。

先週、ロシア当局はウラジーミル・プーチン大統領を暗殺しようとしたウクライナの企てが失敗したとし、クレムリン上空で2機のドローンが撃墜された。キエフは公式に関与を否定しているが、ウクライナの郵便サービスはこの攻撃を記念した切手を発行した。

土曜日には、ロシアの作家で政治活動家のザハール・プリレピンがニジニ・ノヴゴロド近郊で自動車爆弾テロに遭い重傷を負った。運転手は死亡した。容疑者はロシアの警察当局に対し、不特定のウクライナ情報機関に雇われたことを認めている。



●シーモア・ハーシュのバイデン政権の末路(及川幸久、2023年7月16日)

シーモア・ハーシュの調査報道: ウクライナ戦争失敗でバイデン政権は“瀕死状態”、について YouTube で解説:

大スクープを連発する伝説のジャーナリストが、バイデン政権内部で権力闘争が起きていると報道。

そもそもシーモア・ハーシュの情報源は政府内部の高官。今回も複数の高官の言葉をそのまま伝えている。

まずウクライナ戦争仕掛け人、ヴィクトリア・ヌーランドは国務省 No.2 昇格のはずだったが、ウクライナ戦争失敗の責任論で、昇格を止められた。

政権内部の様子をその情報源は「瀕死の政権のパン屑を奪い合うアリたち」と表現。

また、バイデン政権を支える民主党は、大統領選 2024 のことでパニックになっていると。理由は、トランプが共和党候補になり、民主党のロバート・ケネディ Jr.を副大統領に選ぶのではないかとという恐怖。万が一そうになったら、このコンビはバイデンに大勝し、上院・下院の民主党候補も倒すだろう。

ウクライナ軍の反攻作戦が失敗した今、注目は、ロシア軍の攻勢はいつか？ハーシュの情報では、夏の終わり、早ければ8月。ウクライナの攻撃を難なく切り抜けたロシア軍が大規模な反撃に転じる。そ

のとき何が起こるか？ 米国は NATO に何かをするよう求めることで、自らを窮地に追い込む。

<https://youtu.be/iwRjQydw sY>

※安齋注:バイデン政権内部の人々による情報をもとにシーモア・ハーシュが末期的状況を描写する、興味深い映像です。



1 1 に

●リヴウでの強制徴兵(2023年7月16日)

ウクライナのリヴウでは、ウクライナの新兵募集担当官が前線への「志願兵」を登録しようとしたが、その男性は徴兵できるほど元気ではなかったにもかかわらず、軍人たちは白昼の群衆の前で彼を殴打した。

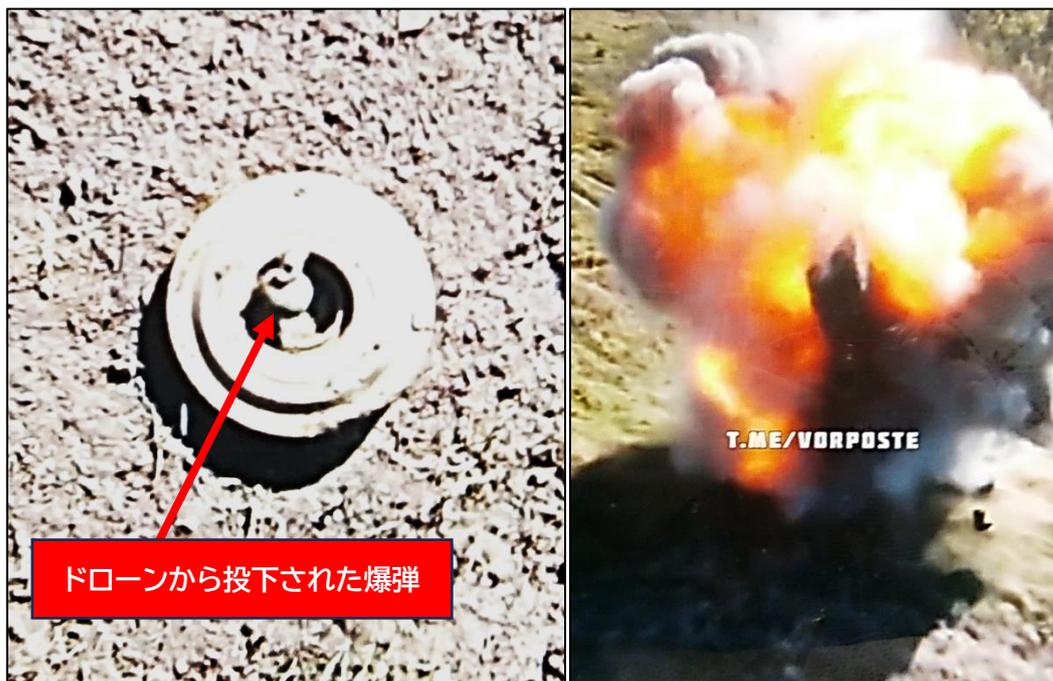
<https://twitter.com/i/status/1680326650037415937>



●ドローンによる地雷解除(2023年7月15日)

ロシア軍による、ドローンを使った地雷の解除。すごい精度のコントロール。腕のいいドローン操縦士を持つことが戦局を左右する時代になっている。

<https://twitter.com/i/status/1680147201962704896>



●ロシアのドローンによる偵察と攻撃(2023年7月15日)

ロシアの FPV/VDNR ドローン - カミカゼ、あらゆる種類の西側装甲装備を破壊する。ドイツのレオパルド A2 戦車や米国のブラッドレーのような BMP-2 戦車を破壊するのに非常に効果的である。

ロシアはこのドローンを偵察と攻撃に使用している。

<https://twitter.com/i/status/1678638622503755777>



●33 年間こんなことは見たことがありません！(2023年7月16日)

ルガンスク市民はショックを受けた。ロシアに加盟した後、彼の街には道路が建設され始めた。

<https://twitter.com/i/status/1680270277823930368>



●アメリカの少女の手荒な抗議(2023年7月15日)

米大統領候補マイク・ペンスは、タッカー・カールソンの番組で親ウクライナの会話をした後、少女から「水」で頭を殴られた。

<https://twitter.com/i/status/1680251718133751808>



●ウ軍は、露陣に向け既にクラスター弾使用(Avdeevka 方面、2023年7月17日)

砲弾の精度もなく、農耕地に放つ。クラスター弾や劣化ウラン弾は長く(半永久的に)、一帯を耕作、立ち入り不可にする。

(従来兵器は、戦後に不発弾や地雷掃海処理し、耕地、住宅地に戻す)

<https://twitter.com/i/status/1680293346697150465>



●ウクライナ人が子供たちに何をしていたかを説明するロシア兵(2023年7月11日)

まるで家畜のように扱い、切り刻んでいた。この戦争が始まる前から、ウクライナで何が続けられてきたのか。児童誘拐、人身売買、臓器売買。

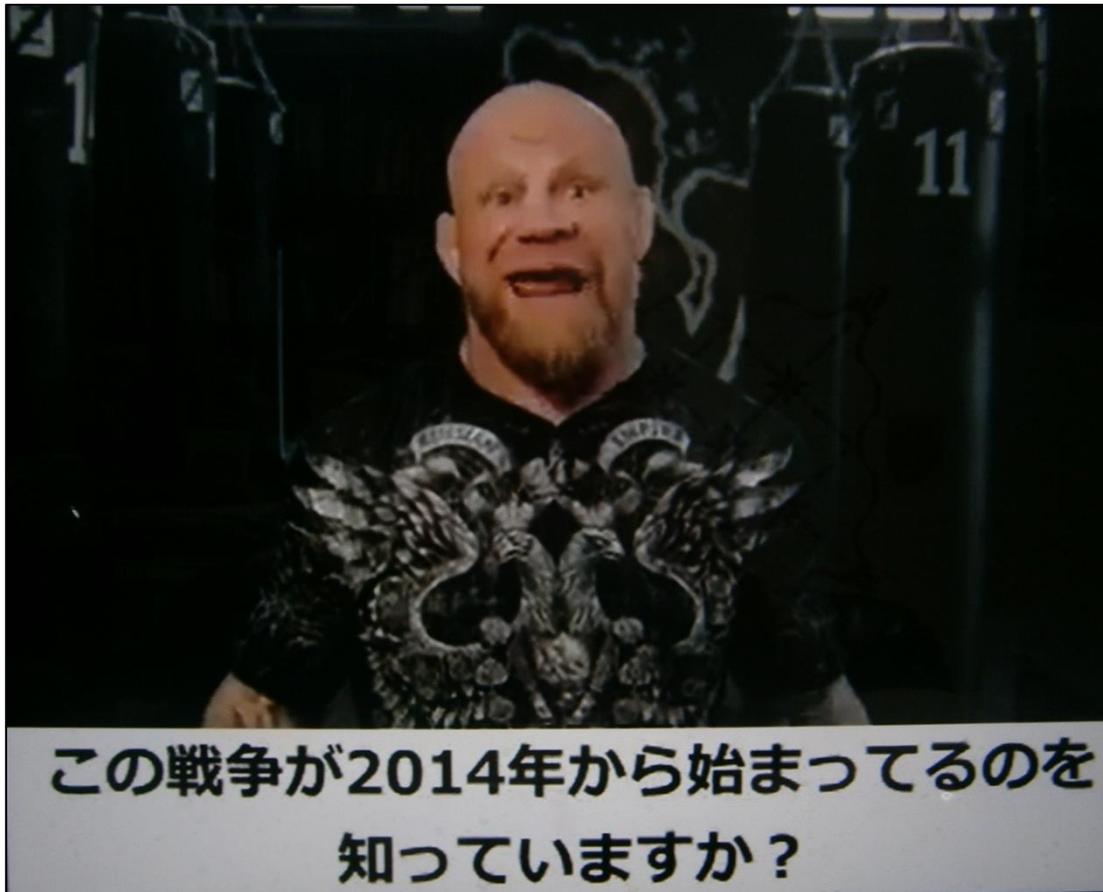
<https://twitter.com/i/status/1678721718381346816>



●この戦争が2014年から始まっていたことを知っていますか(2023年7月16日)

元格闘家の弁:アメリカの狙いは BRICS を潰すこと。つまり、ロシアを潰すことです。ドルに楯突く人間は殺されます。かつてのリンカーン、ケネディ、カダフィ、フセインと同じように。

<https://twitter.com/i/status/1680363360205041664>



●ウクライナ軍、反攻2週間で投入兵器20%喪失 反攻鈍化の要因に 米紙報道(産経新聞、2023年7月16日)

米紙ニューヨーク・タイムズ(NYT、電子版)は15日、米国と欧州の当局者の話として、ウクライナ軍が6月上旬に開始したロシア軍に対する反攻作戦の最初の2週間で、戦場に投入した兵器の20%を失ったと伝えた。失われた兵器には欧米から供与された戦車や兵員輸送車なども含まれている。その後、ウクライナ軍が戦術を変更したため、3週間目からの損害率は10%まで低下したという。

NYTは損害率が低下した理由について、ウクライナ軍が露軍の防衛線の突破を狙う強攻策を中止し、長距離攻撃で露軍を疲弊させる方針に転じたためだとした。この結果、ウクライナ軍は兵力や兵器を温存できたとしている。

NYTは一方で、損害率の低下は反攻速度の鈍化を反映しているとも指摘。ウクライナ軍は当初、露軍の支配下にあるアゾフ海沿岸の「陸の回廊」の分断を狙ったが、現時点ではそのために必要な約100キロの前進のうち、約8キロの前進にしか成功していないとした。

ウクライナのマリヤル国防次官も13日、回廊の分断を目指す南部ザポロジエ州方面での反攻で「ウクライナ軍は確保した陣地を強化しつつ、露軍の弾薬庫の破壊を続けている」とし、強攻策の見直しを示唆した。

反攻に関し、ロシアはウクライナ軍に2万6千人以上の人的損害を与え、戦車など3千以上の兵器を破壊したと主張。ウクライナはザポロジエ州方面でこれまでに計168平方キロメートルの領土を解放

したとしている。

一方、露治安機関「連邦保安局(FSB)」は15日、ウクライナ諜報機関の指示により露国営メディアグループ「RT」のシモニャン編集長と露著名ジャーナリスト、ソプチャク氏の暗殺を企てた「ネオナチグループ」を摘発したと発表した。タス通信が伝えた。

FSBは、グループがウクライナ側から殺害1件当たり150万ルーブル(約230万円)の報酬を約束されていたと主張した。

ウクライナのポドリャク大統領府長官顧問は15日、暗殺計画へのウクライナ側の関与を否定した。同国メディアが伝えた。